

戦評

大会名 平成28年度第69回青森県高等学校総合体育大会バレーボール競技

日時 平成28年6月4日～6日

会場 青森県武道館ほか

男子決勝（6月6日）

弘前工業高等学校 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25-21 \\ 25-20 \end{array} \right\}$ 0 八戸工業大学第一高等学校

ファーストレフリー

晴山 雅紀

セカンドレフリー

新岡 勇士

決勝は3年連続38回目の優勝を目指す弘前工業高校（以下弘工）と初優勝を目指す八戸工業大学第一高等学校（以下工大一）の対戦となった。高い打点とテンポの早いコンビネーションを得意とする両雄が激突した。

第1セット序盤、弘工は安定した守備からクイック攻撃や時間差攻撃など多彩な攻撃を組み立てて、得点を奪う。対する工大一は円子の高さのあるアタックで得点し、点差を開かせない。中盤、弘工は春藤のレフトアタックや時間差攻撃で得点を重ねる。工大一はネット際のミスが重なり、12-7とされたところで1回目のタイムアウト。弘工はセッターにボールが返れば、確実に打ち込み得点を奪っていく。終盤、工大一は選手交代や、上田のクイック、円子のレフトアタックでリズムを掴み、点差を縮めていく。さらに川村のサービスエースで3点差まで詰め、22-19とし、弘工は1回目のタイムアウト。タイム後は、両者が得点を重ね、1セット目は25-21で弘工が先取した。

第2セット序盤、弘工は春藤、稲葉のスパイクで着実に得点を重ねる。工大一も弘工の攻撃に対しブロックとディグで対応し、粘り強く攻撃するが、連続でミスが出て、6-3とされたところで工大一が1回目のタイムアウト。その後も弘工は、巧みなコンビネーションでテンポの早い攻撃を繰り返し、一気に突き放す。工大一は12-4とされ、2回目のタイムアウト。タイム後、工大一は粘り強い守備と上田のブロック、円子のスパイクでリズムを掴み連続して得点を奪うが、弘工の攻撃に対して防戦中心になる。終盤、主導権を握った弘工はフェイント攻撃なども混ぜ、さらに加点していく。最後は弘工のスパイクが決まり、25-20で3年連続38回目の優勝を決めた。

戦評者 本間 貴士